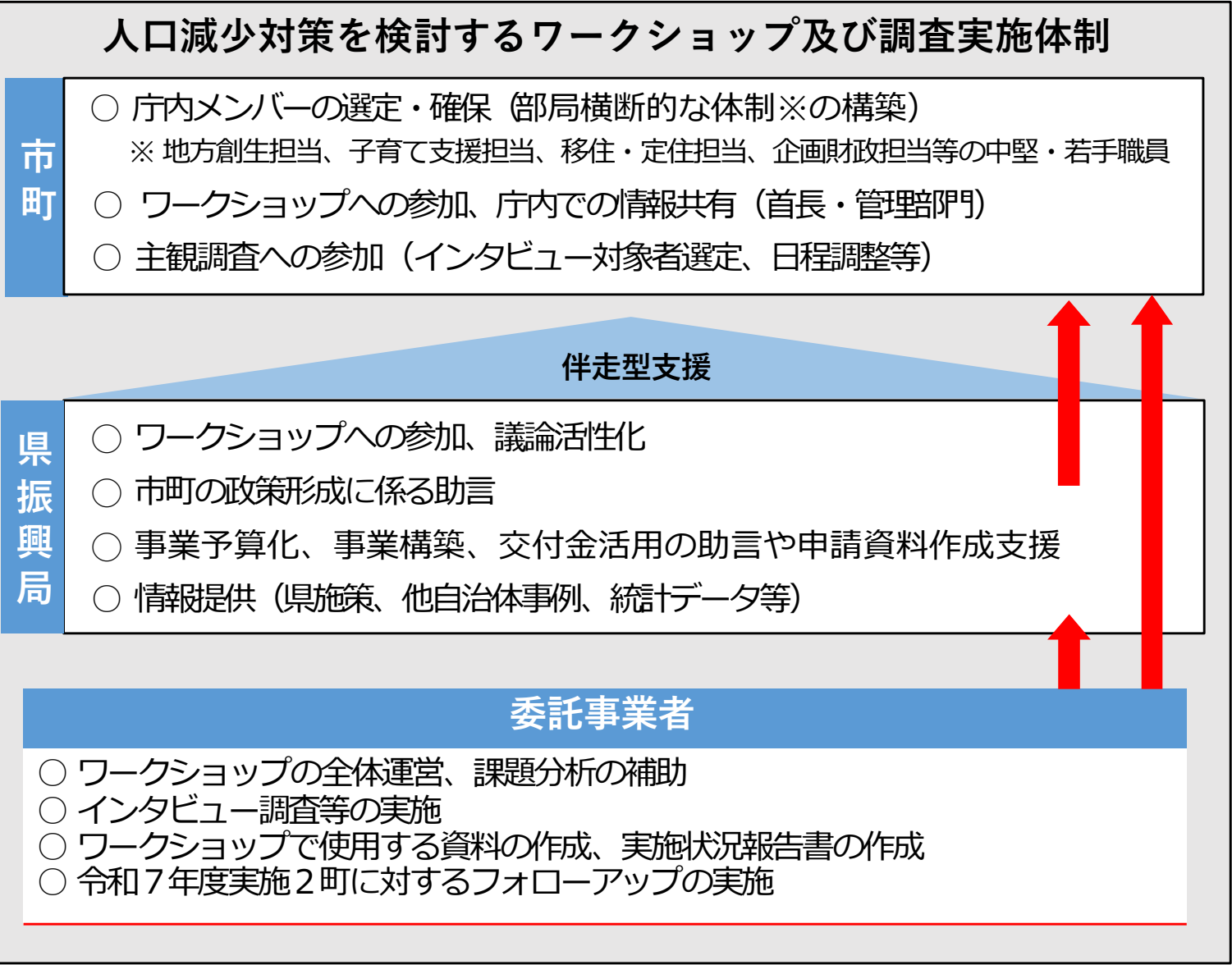


盛岡広域振興局と管内市町が、国の「少子化対策地域評価ツール」の手法で、地域の実情に応じた人口減少対策を検討するワークショップを実施し、「地方創生交付金」等を活用した事業実施を推進する。令和7年度に実施した2町（葛巻町・岩手町）については、本格的な事業展開に向けたフォローアップを実施する。



【伴走支援先】

【R8新規】 八幡平市・雫石町・紫波町

【R7〜継続】 葛巻町・岩手町

A市

B町

C町

伴走支援チーム

- 〇 盛岡広域振興局の職員により構成。
- 〇 チーム構成員で担当市町を分担し、ワークショップに参加。
- 〇 チーム内で、支援町村における地域特性、地域課題、検討状況等を共有しながら、各市町をサポート。

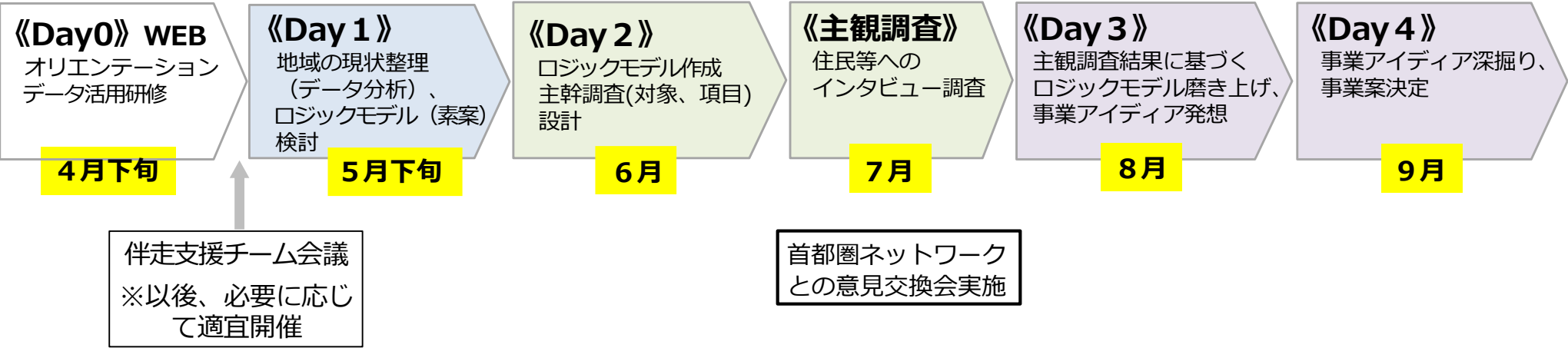
少子化対策地域評価ツールとは？

（内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が2020年3月に策定、2023年3月改訂）

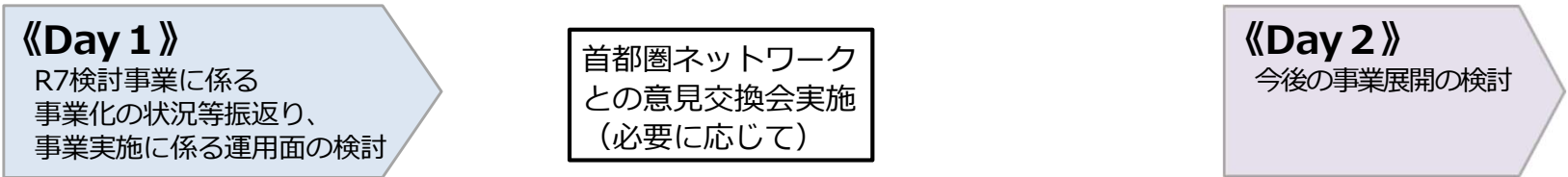
地域特性を分析し、少子化対策の課題と改善策を評価するアプローチ手法を体系化した指針

令和8年度地域課題分析型人口減少対策支援事業 実施イメージ

(1) R8新規3市町（八幡平市・雫石町・紫波町）  
人口減少対策検討ワークショップ／主観調査（4月～9月）



(2) R7継続2町（葛巻町・岩手町）  
人口減少対策に係るフォローアップ（5月下旬以降～随時）



【振興局】ワークショップ伴走支援チームの取組内容

<p>【研修／チーム会議への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ ワークの趣旨、議論活性化のポイントの共有</li><li>○ 各市町の課題や検討状況等の共有</li></ul>	<p>【ワークショップへの参加】</p> <p>振興局 伴走支援員</p>	<p>【チーム編成】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 1市町当たり2人×3市町＝6人</li><li>○ 経営企画部 4人程度</li><li>○ 県税部、保健福祉環境部、農政部、林務部、土木部 1～2人程度</li></ul> <p>【事務局】企画推進課2人 ※局長、副局長も参加</p>
--	---	---

R9事業予算化・実施  
「地方創生交付金」を活用した実施を目指す